

# 第3期上山市快適環境基本計画の概要

## 計画の位置づけ

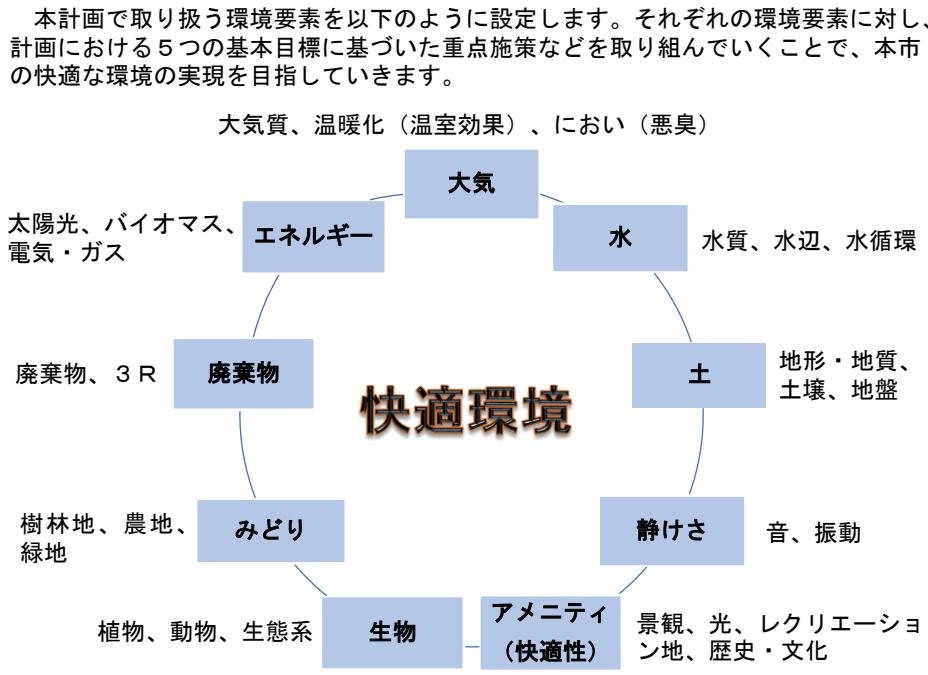
- 上山市快適環境条例に基づき、第8次上山市振興計画が目指す将来都市像を実現させ、良好な環境において市民が安全・安心に暮らせる地域づくりを進めるための指針となる計画です。
- 計画の対象地域は上山市全域とします。
- 計画期間は令和6年度から令和13年度までの8年間とします。



## 望ましい環境像 みんなで創る 快適で住みよい 持続的発展が可能なまち かみのやま

計画では望ましい環境像を実現するため、「5つの基本目標」を掲げ、基本目標ごとに基本的な方向や重点施策を位置付けています。また、計画の成果を測るため5つの基本目標ごとに評価指標を設けています。

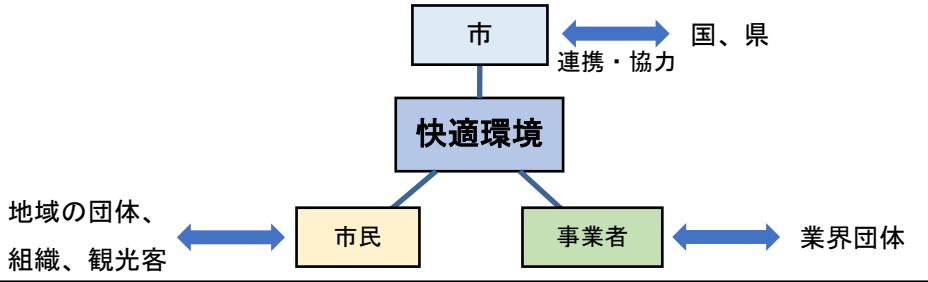
## 計画の対象とする環境要素



## 各主体の役割

環境保全を推進するためには、市、市民、事業者がそれぞれ担うべき役割を自覚し、責任ある行動をとり、相互に連携及び協力しながら「協創」していくことが大切です。

- 1 市の役割**  
市は、市民及び事業者と連携及び協力し、総合的な立場から環境施策の策定及び活動を積極的に行います。また、国、県と連携及び協力し、広域的視点に立った取り組みを推進します。
- 2 市民の役割**  
市民は、環境問題への関心や理解を深め、現在の生活が環境に対して与える影響について十分に認識し、環境に優しいライフスタイルへの転換を心がけるとともに、環境保全のための行動に積極的に参加します。
- 3 事業者の役割**  
事業者は、環境問題への関心や理解を深めるように努め、自らの事業活動が環境に対して与えている影響について十分に認識し、事業特性に応じた環境保全の取り組みを積極的に推進します。



## 5つの基本目標

※評価指標における現在値は令和4年の数値、目標値は令和13年の数値

### 1 地球温暖化防止・再生可能エネルギー導入

世界中で温室効果ガス排出抑制によるカーボンニュートラルの実現を目指した地球温暖化対策が急務となっており、上山市においても、市、市民、事業者それぞれがライフスタイルの見直しや省エネルギーに取り組むとともに、温室効果ガスの抑制や再生可能エネルギーの導入を推進します。

【基本的な方向】 ●温室効果ガスの抑制 ●省エネルギーと再生可能エネルギーの利活用 ●産業分野別での環境負荷削減 ●気候変動への適応（新規）

【重点施策】 ●省エネルギーの推進 ●再生可能エネルギーの利活用

【評価指標】 ●市施設の温室効果ガス排出量 現在値：4,721t-co2 ⇒ 目標値：2,443.3t-co2  
●市内の再生可能エネルギー新規導入量 現在値：- MWh ⇒ 目標値：7,429 MWh  
●地球温暖化対策の取組が進んでいると思う市民の割合 現在値：- % ⇒ 目標値：100%

### 2 循環型社会の推進

ごみを出さないライフスタイルへの行動変容やごみの適正処理、3R（Reduce減らす、Reuse再使用、Recycle再資源化）の浸透により、環境負荷の少ない循環型社会を推進します。

【基本的な方向】 ●ごみ減量とリサイクルの推進 ●ごみの適正処理の推進

【重点施策】 ●3R（Reduce減らす、Reuse再使用、Recycle再資源化）の推進 ●ごみの適正処理

【評価指標】 ●市民一人一日あたりの家庭系ごみ排出量 現在値：550g/人・日 ⇒ 目標値：530g/人・日  
●ごみの資源化率 現在値：22% ⇒ 目標値：25%  
●循環型社会が進んでいると思う市民の割合 現在値：- % ⇒ 目標値：100%

### 3 自然との共生

上山の有する蔵王連峰等の山々、里山、田園、水辺等の自然は、多様な生物の生息空間として、物質資源供給の場として、また、やすらぎと活力を与える場として、私たち市民に多くの恵みをもたらしてきました。このような恵みを持続的に享受していくために、人と自然の共生に配慮した環境づくりを行います。

【基本的な方向】 ●森林地域における共生 ●身近な自然における共生 ●水辺空間の保全と創出 ●都市緑化の推進

【重点施策】 ●レクリエーションや環境学習の場としての森林の活用 ●里山の保全と活用

【評価指標】 ●野生動物による人的及び物的被害件数（農作物被害を除く） 現在値：0件 ⇒ 目標値：0件  
●生活に支障のない河川整備がされていると思う市民の割合 現在値：- % ⇒ 目標値：100%

### 4 生活環境の保全

大気汚染、水質汚濁、騒音・振動などの生活環境に影響を及ぼす公害を防止・低減していくとともに、空き家、空き地対策などの課題に取り組み、安心して住み続けられる環境を保ちます。

【基本的な方向】 ●公害防止全般 ●大気環境の保全 ●水環境の保全 ●騒音及び振動の防止 ●土壌と地盤の保全 ●空き家・空き地対策 ●景観の保全

●歴史文化環境の保全と発展 ●美化清掃の推進

【重点施策】 ●空き家対策 ●空き地対策

【評価指標】 ●空き家バンクの成約件数 現在値：82件 ⇒ 目標値：170件  
●法規制対象の苦情件数 現在値：16件 ⇒ 目標値：5件  
●河川の水質汚濁に係る環境基準（BOD）の達成率 現在値：100% ⇒ 目標値：100%  
●大気汚染、水質汚濁、騒音等の公害が少ないと感じている市民の割合 現在値：- % ⇒ 目標値：100%

### 5 環境意識の向上

私たちのふるさと上山は、他に誇れる豊かな自然に恵まれています。この豊かな自然環境を将来世代に引き継いでいくためには、市民の環境意識の向上が求められます。学校や社会活動での環境学習を支援し、自主的な環境保全活動を推進していくことにより、年齢や職業に関わらず、主体的に環境問題に向き合う市民の育成に取り組めます。

【基本的な方向】 ●自主的な取り組みの推進 ●環境学習の推進

【重点施策】 ●社会活動における環境教育や学習の推進

【評価指標】 ●環境美化運動の実施地区数 現在値：52地区 ⇒ 目標値：100地区 ※市内における地区数は全100地区